



故 梶村勝利 東京日本語ボランティア・ネットワーク代表を偲んで

多文化共生とわかる日本語普及に取り組み、日本語ボランティア活動の在り方を発信し続けてきた
故梶村勝利代表が、本年2月8日に84歳でご逝去されて三月が経ちました(原稿執筆時)。

改めて、故人を偲び、TNVNでの活動を振り返り、活動を共にされた方々からの追悼の言葉を紹介したいと思います。(御氏名 あいうえお順)

梶村さんは、現役引退後、豊島区のボランティア日本語教室に参加、活動を始めました。1998年頃TNVN事務局にスタッフとして参加、副代表を何期か努めた後、2002年度に代表に就任しました。それから18年に亘り、代表として、TNVNの活動が広く社会に認められるよう努力を続けました。

大きな功績は、「TNVNネットワークニュース」の定期発行や「ボランティア日本語教室ガイド」を通して、TNVNを国内だけでなく世界に知らせたこと、又、文化庁や東京都などの行政機関、関係諸団体の信頼を得るような組織にしたことだと思います。

余談ですが、マラソンと水彩画を楽しみにしていて、京橋の画廊でお仲間と展覧会を開いていました。水彩画は浴衣姿の女性を描き、普段受ける梶村さんの印象とのギャップが面白かったです。

(一財) 東京都つながり創生財団 総務課長 新目 亮太

梶村代表には、財団設立時より理事にご就任いただきました。設立に向けた会議の中で、「共助社会への外国人の参加・活躍の推進により、多文化共生社会と共助社会というテーマがつながり、地域コミュニティが活性化される」と、当財団の展望について大きな期待を寄せて頂きました。この分野に初めて携わる私にとって、財団が掲げる二つのテーマの共通項を見いだすきっかけとなる言葉でした。梶村代表、ありがとうございました。これから教えていただきたいことが山ほどあっただけに、残念でなりません。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

NHK 報道局 NEWS WEB EASY 担当 越智 慎司

梶村さんとの出会いは2013年の「国際化市民フォーラム in TOKYO」でした。2012年にNHKが開始した「NEWS WEB EASY」について私が話し、梶村さんにコーディネーターを務めていただきました。ニュースをやさしい日本語に書き換えるチャレンジを始めたばかりの私は、同時期に書き換えのマニュアルをまとめられた、梶村さんほかTNVNの皆様を“先達”のように思っており取り組んでいました。「NEWS WEB EASY」も10年目に入り、さらに見守っていただきたかっただけに、残念でなりません。改めて御礼申し上げます。

にほんごの会 くれよん 石原 弘子

1月1日に梶村様からMLで、新年のご挨拶があり、コロナ禍での各団体の活動の情報交換や、TNVNの新しい観点からの活動を模索していく旨が記されていました。新しい時代にあった日本語ボランティアの姿を、いっしょに考えていきたかったです。思い返せば、梶村様が代表になられてから、まとまりのある運営になりましたね。安心して参加を続けることができました。あらためて感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

NPO 法人 IWC 国際市民の会 仁村 議子

初めて梶村さんにお会いしたのは、20年近く前のこと。当時、IWCだけではなく「早稲田奉仕園」の日本語教室でも活動されていた関口シ子さん(2003年4月IWC入会)からご紹介いただきました。それ以来、今となっては最後となってしまったメールを受信した、今年のお正月までの間、梶村さんが如何にひた向きに国際交流、多文化共生の任務に当たられていらっしゃったことか。私のような親子ほど年の離れた若輩者にも決して偉ぶることなく、丁寧にご指導くださったことか。梶村さん、長い間本当にありがとうございます。

所沢インターナショナルファミリー 小田 良子

2011年2月の「国際化市民フォーラム」での梶村さんの講座をきっかけに、その前年に発足したばかりのTNVN「わかる日本語」研究会のお仲間に入れていただきました。梶村さんが力を注がれた多文化共生に向けての活動の中でも、「わかる日本語/やさしい日本語」はこの10年で日覚しく普及しました。私の活動する埼玉でも県主催のイベントや研修でたびたび取り上げられるようになりましたが、梶村さんはまだまだ道半ばと感じておられたかも知れません。穏やかに、また熱意を込めてお話される研究会でのお姿が思い出されます。合掌。

文化庁国語課 日本語教育調査官 増田 麻美子

「突然の訃報に悲しくてたまりません。大学院でやさしい日本語の研究をしていたとき、TNVNの活動に誘っていただいたことがご縁でした。穏やかで温かなお人柄の梶村さんですが、一人でも多くの日本語学習者の思いに応えたい、ボランティア活動に協力くださる方々のために行政を動かしたいと熱い思いで奔走する一面も持ちました。文化庁にも度々現場の声を届けてくださいました。2019年文化庁長官表彰を受賞され、まだこれから!とおっしゃっていただけない残念でなりません。梶村さんの思いを胸に進まなければと思います。ご冥福を心からお祈りいたします。」

東京都つながり創生財団が設立されました —日本人と外国人が共に活躍し、安心して暮らせる社会へ—

寄稿

伊藤 結花

一般財団法人東京都つながり創生財団
多文化共生課（地域日本語教育担当）
課長代理



多文化共生ポータルサイトのトップページ

令和2年（2020年）10月に、様々な人が安心して暮らせる多文化共生社会づくりと、相互に助け合う共助社会づくりを目的に、東京都つながり創生財団が設立されました。令和3年（2021年）4月からは、これまで東京都の多文化共生事業を担っていた東京都国際交流委員会の事業を引き継ぎ、新たな事業も加えて本格的に始動していますので、日本語支援の前線で活躍されている皆さまに、財団事業の紹介をさせていただきたいと思います。

● 多文化共生と共助社会づくり

平成28年（2016年）2月に策定された『東京都多文化共生推進指針』の中に、「東京都国際交流委員会を再構築し、情報提供や相談機能を整備する」という記載があります。財団はこの指針ののっとり、委員会が実施していた情報提供やネットワークづくりを引き継いで強化するとともに、新たに外国人相談事業や地域日本語教育事業などを開始しました。

委員会のホームページに掲載していた外国人や支援者のための情報、東京の外国人支援・交流団体などは、新たに作成した【東京都多文化共生ポータルサイト】に掲載しています。また、外国人相談を実施している【東京都多言語相談ナビ（TMCナビ）】では、多言語で外国人からの相談に対応するほか、法律相談や、公的機関等を対象とした通訳支援などを実施しています。日本語教室で学習者から相談を受けた際には、ぜひポータルサイトの情報や、多言語相談ナビをご活用いただければと思います。これまで委員会が実施していた「コーディネーター研修」や「国際化市民フォーラム」なども引き続き実施していきます。

共助社会づくりに関する事業としては、区市町村と連携し、ちょっとした困りごとを抱える町会・自治会と、その活動の担い手をマッチングする地域コミュニティ活性化事業を実施します。また、ボランティア活動に関心がある方と、受入団体の情

報提供をするシステムの運営も開始します。現在、公開に向けて準備を進めておりますので、地域活動にご興味ある皆さまにご参加いただければと思います。

● 地域日本語教育事業

日本語教育関連の事業につきましては、TNVNの『ボランティア日本語教室ガイド』に代わるものを運営してほしいというご要望が以前からありましたので、今年度は【東京都地域日本語教室検索データベース】というホームページ上の日本語教室一覧を作成しています。また、コロナ禍で対面での支援を休止しなければいけない教室が多く、オンラインの使い方を学びたいというご意見が多かったことから、TNVNとの共催で初心者向けのオンライン使い方講座を開催することにしました（募集は終了）。

故梶村代表には財団のこれからのことをご相談していたところでしたので本当に残念ですが、林川新代表をはじめTNVNの皆さまに教えていただきながら、役に立つ財団になれるよう努力していききたいと思います。設立したばかりの財団で力不足なところもあるかと思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。



東京都多言語相談ナビで相談を受けている様子

一般財団法人東京都つながり創生財団

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階
郵送先 〒163-0808 新宿NSビル内私書箱6102号
TEL:03-6258-1223 FAX:03-6258-1228
HP:<https://www.tokyo-tsunagari.or.jp/>

● 東京都多文化共生ポータルサイト
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/index.html>

● 東京都多言語相談ナビ（TMCナビ）
TEL:03-6258-1227（平日10:00-16:00）
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/information/consultation.html>



いいね！



オンラインで「使える」日本語教材

オンラインで利用できる、3つの日本語学習の教材（コンテンツ）をご紹介します。それぞれの教材の特徴を、教材作成者の方々にうかがいました。

● 文化庁 日本語学習サイト 「つながるひろがる にほんごでの暮らし」

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

本サイトは、生活に根差した日本語学習サイトです（通称つなひろ）。生活でよく遭遇する場面から28テーマ（あいさつ、買い物等）を選定し、約90の動画を中心に基本的な言語知識を学べる内容にしています。学習項目は動画中から抽出し、生活でよく使うフレーズや言葉を学べます。また、使用文型を解説する動画も収録しました。気軽に学べるように、無料、IDやパスワードが不要な設計にしています。

初めて日本語を学ぶ人のために多言語版を用意しており、現在は10言語（英語、中国語（簡体字）、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール（カンボジア）語）で展開しています。

外国人の皆さんに紹介するだけでなく、日本語教室での活用も可能ですのでぜひ活用ください。



● NHK ワールド JAPAN 「やさしい日本語」 <https://www.nhk.or.jp/lesson/>



「やさしい日本語」は初級者向けの日本語学習番組です。来日したばかりの留学生が、母国で出会った憧れの人を探すというドラマ仕立ての48課で構成されています。アニメのストーリーを楽しみながら、1課で1つ、あいさつ、買い物、道に迷ったときなど、日常生活に欠かせないフレーズを学ぶことができます。

各課に、キーフレーズの解説や使い方、応用問題があり、学習内容をしっかり身につけられます。また、数や曜日などを覚えるコーナーや文化情報コーナーなども充実しています。

ホームページは、日本語をはじめ、英語、ベトナム語など19の言語で同じ学習内容が掲載されています。支援者の方は日本語版を、学習者の方が自習する時は各言語版を使うことができます。アニメスキットの

ほか、3分間の解説動画や、さらに詳しい10分間のラジオ番組も視聴できます。番組テキストと音声は無料でダウンロードが可能です。ぜひ「やさしい日本語」をオンラインレッスンで使ってみてください！（制作：NHK 監修：国際交流基金）

● 国際交流基金 「いろどり 生活の日本語」 <https://www.irodori.jp/irodori-online.jp/>

「いろどり日本語オンラインコース」
<https://www.irodori-online.jp/irodori-online.jp/>

日本に住む外国人の皆さんの地域や職場での毎日が少しでも「彩り（いろどり）」豊かなものとなるよう、言葉やコミュニケーションの面でお手伝いしたい。そんな想いを込めて、国際交流基金が昨年公開した教材です。最大の特徴は、

なんとと言っても教材全てがウェブ上から無料でダウンロードできること。対面授業が制約される状況でも手軽に利用できます。

各レッスンでの学習目標はCan-doの形で明確に示されており、「できる」ようになったという達成感と、もっと「できる」ことを増やしたいという学習意欲がその都度高まります。防災、救急など緊急の場面での日本語も、臨場感あるイラストや音声を通じてしっかり学べます。

また、だれでも無料で登録して受講可能なオンラインコースは、スマートフォンやタブレットでも利用できます。

まだまだ広がる「いろどり」の輪に、あなたも是非加わってください。ウェブサイトで待っています！



駅で見る 「さまよえる外国人」 駅の話編

日本語教師 金子広幸

今日は駅で出会った外国人の様子を例に挙げながら、お話ししましょう。

まずお節介おじさん金子の体験記から。

- 来日3週間目の欧州の学生さん。日本語はまだ全然だけれど、明日は有楽町へ出かけていくと言う。「地下鉄の中は英語の放送もあるから大丈夫だよ」と伝えていたのに、結局有楽町で降りられなかった。理由を問うと「Yurakucho（ようあくちょおお）と英語風に使われても、有楽町のことだとわからなかった」とのこと。「漢字に平仮名が書いてあったらよかったのに」と言っていた。
- （最近東京の駅のアナウンスでは、この辺に配慮があって、英語の中に埋められている日本語の駅名は日本語風にゆっくり発音されていますよね。）
- 池袋駅の切符売り場の前で上海からのビジネスマンに「ムサシ・ウラワはどこ？」と日本語で聞かれた金子。目の前の英語の駅名一覧の「武蔵浦和が「Musashi-Urawa」であること」がわからなかったようだ。金子は「WuzangPuheです」と答えた。英語表示の中に漢字も書いてあったらよかったのに。
- これまた中国のビジネスマンの一団。ゆりかもめの車

内で右往左往。どうやら Takebashi に行きたいらしい。心配そうに見つめていた金子に英語で聞いたその人の手に握られていた携帯の文字にも「Takebashi」と英語で書いてあった。でも到着した駅は、竹橋から遥か遠い「竹芝」。携帯の地図やメールに漢字も添えて書いてあったらよかったのに。

- これは「板橋駅」の前で母が韓国から来たと言う留学生に道を聞かれたときの話。とても困っていたので母が声をかけたらしい。どこに行くの？と聞くと、「いだばし。たくさんの日本人に聞きました」とのこと。でも、彼女たちが行きたい目的地は実は遥か遠い「飯田橋駅」でした。

外国人市民の皆さんは駅や電車でいろいろ「さまよっている」ようですね。

ではその「さまよい」を防ぐべき鉄道の表示はどうでしょう。

最近は4言語表示になりましたね。その変遷を振り返ってみます。



①カタカナ時代

ここまでするのにも紆余曲折がありました。むかしは電車の車内の表示の駅名漢字についた振り仮名がカタカナでした。日本人には「振り仮名はカタカナで書く」というイメージがあったんですね。

地域支援をされる読者の皆さんだったらおわかりだと思うんですが、外国人市民にはカタカナは大敵、なかなか覚えられませんよね。せっかく仮名が振ってあっても「成城学園前」の横に「セイジョウガクエンマエ」と書いてあると、読み終わらないうちに表示が変わってしまいます。しかもこれだけの量のカタカナだと、インパクトがありすぎて、読むのが大変、かわいそうでした。

②外国語を増やしてみた時代

やがて、だんだん外国語が増えました。最初は英語。そして中国語と韓国語がつかしました。でも、外国語だから安心というわけじゃないんですよ。例えば、日本語社会で生活している中国語使用者にとっては、中国語の「每站停车」は、日本語では「各駅停車」と書いて「かくえきていしゃ」と読む、それを知ることが大切ですよね。

中国語使用者なら日本語の漢字を見れば意味は大体わかるのですが、本来的には対応する訳語につながないと社会的な意義がありません。

これは漢字表記の比較なのでピンとこないかもしれませんが、ハングルだったらいかがでしょう。「각역정차」（韓国語ではカギョクチョンチャ）に「かくえき・ていしゃ」と、わかりやすくひらがなの振り仮名がついていればいいですね。だって、韓国から来た人がとっさに周りの日本人に「この電車はカギョクチョンチャですか?!」と聞いても、通じませんから。

外国語を背景に持つ利用者が、自分たちがそれぞれ体の中に持っている感覚「Local train」「每站停车」「각역정차」を、日本語では「かくえき・ていしゃ」と言って、漢字では「各駅停車」と書くんだと、シフトできたらいいと思います。

③日本語への橋渡しの時代

以上②で述べたようなことが、2020年の後半あたり



から具現されてきました。写真のような表示が東京圏の鉄道にも見られるようになり、いろいろ関連付けて覚えられるようになっています。

池袋駅の副都心線のホームで初めてこれを見たとき、私はとても感動しました。

いくつも表示が変わっていくのですが、英語にも、中国語にも、韓国語にも、全てそれ相当の日本語の言葉のひらがなの振り仮名（つつきんきゅうこうなど）が振ってあるのです。そして日本語は漢字だけの表示で、そこには振り仮名はありません。

次々に変わるその表示を私はしばらく眺めてしまいました。

これは話者の思いを、「外国語に翻訳すること」ではなく、「日本語につなげること」に主眼が置かれるという点で、地域の日本語の支援と似ていますね。これからの日本語社会はこうありたいと、私は思ったのでした。

さて次号はこの「さまよえる外国人」の続き、さらに漢字のことについて、詳しく述べます。



聖心女子大学グローバル共生研究所 にほんご講座 (渋谷区)

岩田 一成 (現代教養学部日本語日本文学科)

私は元青年海外協力隊隊員(10年度1次隊中国派遣)です。かつて地下鉄広尾駅を出たところにJICAビル(青年海外協力隊訓練用)がありました。

そこが今は、聖心女子大学グローバル共生研究所となり、展示や各種講座を開いて地域の方に公開しております。講座の一つが2017年にスタートしたにほんご講座です。聖心女子大学の学生がボランティアとして参加し、近隣の外国人住民が日本語を学ぶ場所になっております。私が新卒ピチピ

チのころ隊員として訓練を受けたこの場所で、今は教員としてお仕事をしているなんて不思議なご縁を感じます。

この研究所が、地域のみなさまに開かれた憩いの場所となるよう努力していきたいと思っております。

日本語教師によるオンライン会話クラス(有料)

- 春講座(終了)月曜日コース・金曜日コース
- 秋講座 月曜日・金曜日に開講予定

グループレッスン

グループレッスン

学生とのオンライン会話クラス(無料)

- 春講座(終了)・秋講座 開講予定

お問合せ:グローバル共生研究所

URL <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/event/japanese2021spring/>



会員団体紹介

Nice to Meet You

「あなたの公-差-転」は杉並区善福寺という地域(西荻窪、荻窪、上石神井の間にある地域)で2015年からコミュニティスペースとして活動してきました。こちらでは様々な背景、国籍、ことば、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、視点、価値観をもつ方が自由に集まり、お互いに刺激を与えながら、連帯しようとしています。数年前から言語エクステンジ「mouth to mouth」というイベントとしてそれぞれが持っている言語を共



nice to meet you

kosaten にほんご (杉並区)

有し合って、日本語、英語、フランス語、中国語、ペルシャ語などを一緒に勉強しました。最近日本語学習のニーズが増え、2020年から日本語の専用の交流会が有機的に展開しました。近所の方から少し遠く都心に住んでいる方、中学生から50代の方までが現在参加しています。

kosatenでは対等な立場で何かを共有することを大事にしています。「先生」と「生徒」という区別をせず、上下関係もできるだけ抜けて、一方的に何かを「教える」ではなく、お互いから学び合う、お互いに向き合うことを目指しています。それぞれのバックグラウンドやアイデンティティを尊重しながら、自分の固まった世界観から一歩踏み出す機会になったらと考えています。

言語を学ぶとはどういう意味なのかよく考えています。言語を通してもう一つの視野が得られると同時にその言語に根付いた偏見(特にジェンダーや国籍に関して)なども飲み込んでしまうこともありますので日本語の教科書では疑問を持つ表現

なども議論したり、別の事例をあげたりすることもあります。

ミューチュアルエイド相互扶助のことも重視して、日常生活の中で困っていることを気軽に話し合ったり、一緒にその壁を取り組んだりお互いをサポートする姿を目指しています。その中で毎週水曜日もみんなの食堂として無料で食事提供し、毎月第四土曜日・月曜日もフードパントリーとして無料食料配布も行っています。

kosatenは様々な人と出会えるコミュニティなので日本語を勉強することだけではなく、料理を作ったり、音楽と踊ったり、ゆっくり本を読んだりすることもでき、よくリラックスして、自分の居場所になるように願っています。

「あなたの 公-差-転」

〒167-0041 東京杉並区善福寺3-2-14
善福寺ゴールドハイツ1F kosatenにほんご

毎週日曜日14:30-16:30

予約: contact@kosaten.org

<http://kosaten.org>



「hiroba ひろば」から

[hiroba]は、TNVN会員団体間の情報共有のために利用しているメーリングリスト（ML）です。今年2月、このMLで会員団体発信の「オンライン・スキルアップ講座」情報が掲載されました。講座内容は、zoomの基本操作と、制作者からのオンライン教材紹介を中心に、防災教室、料理教室ワークショップ等もある幅広いものでした。

1ヶ月に及ぶ講座のあとに、講座に参加できなかった方々のためにと、各地域からの要望に応じて、ミニ講座（2回）がありました。

ボランティア の声

ミニ講座参加の多摩市国際交流センター会員の方に講座の感想や、現在の教材使用状況をうかがいました。

[hiroba]の登録はTNVNの会員団体ごとをお願いしています。新たに登録を希望される団体、協力会員の方は、こちらからお申し込みください。



●KYさん

講座は、実践的で良かったと思います。

初日はzoomの一般的な機能の紹介、2日目に「つながる…」の具体的な使い方の紹介と、2段階になっていたのは効果的でした。

早速「つながる…」のレベル1のシーンを、海外とのオンライン授業で使用中。学習者は初心者なので、シャドーイングとはとてもいかずリピートをたどたどしくやっていますが、動画による教材の良さを実感しています。

●CUさん

1日目だけの参加でしたがzoomの使い方は楽しく勉強できました。

「いろいろ」は1日目の講座で教えていただき、その後ネットでみましたが、使い方のイメージが持てずにいます。対面授業なので、直接使ってはいません。（クラスでは、他のペアのじゃまにもなるので音声教材が使えずにいます。）

「まるごと」の動画もいろいろで共有できるようですが、そのあたりの画像や動画の生かし方も知りたいです。「つながる」掲載の「日本語の特徴」は、自分の勉強にもなります。（動画は、よくフリーズします。）

●YKさん

zoom初心者にとって、大変参考になりました。

現在学習者は中級レベルの中国の方です。

「つながる」のサイトを紹介して一緒に「日本語の特徴」の動画を見始めたのですが、学習者に今迄学習してきたことの復習・まとめになったようです。

動画の中の日本語に全てローマ字の読み方が付いているので、改めて書いてある日本語と読み方の違いに気付いたそうです。

例) こうせい koosee、ていねい teenee

動画を一人でスマホ/タブレットから見る時にはフリーズしないのですが、zoomの共有画面で見ると度々フリーズします。

●古瀬千鶴さん

「やってみよう、オンライン支援」

文化庁が「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」を公開した。動画あり、スクリプト（多言語版）あり。PDF版でのダウンロードも可能。PCからもスマホからもアクセスできる。これがあると学習者が一人でも学べる。

日本語教室いらないかも…日本語ボランティアはいらないかも…。

3月11日、「つながるひろがるにほんごでのくらし」使い方講座に参加した。初日の講義は「zoom」の使い方から始まった。私は海外の学習者に日本語を教えているので、基本操作について習得済…。しかし、これって、私が考えているよりzoomが浸透していないということのあらわれ？と気づかされた。

現在、オンライン、オフライン（対面）と分かれて授業をしているが、聞こえてくる声は断然「対面（オフライン）」希望が多い。両者共やることは基本的に同じではないかと思う。

とはいえ、日本文化は察する文化と言われ、オンラインでは「ノンバーバル（非言語）」が伝わりにくく、コミュニケーションが取りづらいことが対面に劣るところかもしれない。

zoom等のテレビ会議システムやパワーポイント、オンライン教材の使い方に慣れてくれば面白くなる。教材準備に手間はかかるが、支援内容が明確になる。ボランティア同士で共有することもできる。

人と人とが接触すること自体が危険な昨今、人との接触も軽減でき、移動時間も節約できる（運動不足にはなりますが）。これを機に、便利な機能を使いこなしていければボランティアの支援の幅も広がってくると思う。



●第28回定期総会のご報告

新型コロナウイルス感染が収まらず、今年度の定期総会もインターネットを利用せざるを得なくなりました。定期総会の結果については4月26日(月)にメールでご報告しておりますが、改めてご報告します。

4月25日(日)18時00分までに賛否を表明して下さった会員は、全83団体中52団体でした。事務局提案の議題について、52団体から全て賛成の御判断をいただきました。会員のご支持を支えに、事務局一同、ご期待に沿えるよう努力を続けてまいります。

●TNVN2021年度役員・スタッフ・運営委員

2021年度の役員・スタッフ・運営委員が決まりました。
ご支援、ご協力をよろしくお願いします。本年度も会員の皆さまと、情報・意見交換会等を通じて交流を深めてまいります。

○役員・スタッフ

代表	林川 玲子	ビバ日本語教室(港区)
副代表	神 歩	グッドナイト日本語教室(江東区)
事務局長	岡田美奈子	やさしい日本語(江東区)
会 計	矢崎 理恵	社会福祉法人さぼりと21(品川区)
会計(日常)	岡田美奈子	やさしい日本語(江東区)
会計監査	山内 真理	多摩市国際交流センター日本語セミナー部(多摩市)
スタッフ	小川 伶子	初歩日本語「土曜ひろば」(練馬区)
スタッフ	床呂 英一	まちだ地域国際交流協会(町田市)
スタッフ	松川 彩子	在宅 やさしい日本語(江東区) HP 英文問合せ担当
スタッフ	大滝 敦史	在宅 HP 管理

○運営委員

安藤亜有美	LTC友の会(杉並区) 新任
大野 敏宏	すみだにほんごボランティア21(墨田区) 新任
小野美恵子	グッドナイト日本語教室(江東区)
小林 薫	にほんごサークル「わかば」(世田谷区)
坂本 弘一	かけはし(足立区)
鈴木 恵司	スペース・アイ(渋谷区)
中山真理子	NPO法人多文化こども自立支援センター(中野区)
仁村 議子	NPO法人IWC国際市民の会(品川区)
三浦 幸男	こんにちは日本語サークル(練馬区)
山形美保子	LTC友の会(杉並区)
渡辺 紀子	まちだ地域国際交流協会(町田市)

column

「日本語を教えられました。 ありがとうございます。」

駆け出しの日本語教師だった頃、生徒に言われました。「先生は私に日本語を教えました。」
「私は先生に…」活用は合っています。

「どういたしまして。」と答えながら、教室の外で使われたら困るなあと、ちょっと心配しました。

「私は先生にほめられた」はいいけど、この形は、ぶたれた、怒られた、いじめられたなど、いやなことを言いたい時によく使われます。そ

れで、あまり使ってほしくないのです。

でも、「最近、いやなことがありましたか。」と聞いた時、次々と出てきました。「好きなケーキを友だちに食べられました。」「朝の電車で足を踏まれました。」「ラブレターを友だちに見られました。」「泥棒に財布をとられました。」など、言いたいことがいっぱいあったようです。おかげで、みんなすっきりしました。

(RH)

東京日本語ボランティア・ネットワーク(TNVN)は都内のボランティア日本語教室のネットワークで、会員からいただく会費で運営している民間の団体です。会員は日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人を、隣人として支援しています。又、TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日午後2時～4時
第5金曜日／休み

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR・地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線)出口B2b 飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしています。

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

◆TEL：03-3235-1171

(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

◆FAX：03-3235-0050

◆E-mail：office@tnvn.jp

◆URL：http://www.tnvn.jp/

◆郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

◆会員数(2021年6月1日現在)

正会員：85団体

個人協力会員：15名

賛助会員：5団体

◆編集／岡田 美奈子、小川 伶子、神 歩、
床呂 英一、林川 玲子、山内 真理

◆レイアウト／美巧社